

令和7年度議会報告会報告書

日時：令和7年11月1日（土） 第1部 13:30～15:00 第2部 19:00～20:30

開催場所：長与町ふれあいセンター

参加人数：第1部（昼の部）13人 第2部（夜の部）5人

出席議員：第1部（昼の部）：八木、西田、浦川、安部、金子、山口、竹中、西岡、（岡田）

第2部（夜の部）：下町、堀、岡田、松林、中村、堤、安藤、（安部）

①全体質疑

質問・意見
○誰が何を話すのかなど前もって示してもらいたい。（レジュメのこと） →A. 今後の参考にします。
○今までの議員選挙で無投票の選挙が何回もあった。定数が減っても無投票になることがあり、改善してもらいたい。この原因は、議員報酬が少ないからだと思っている。 →A. 年金や社会保険等もなく非常に厳しいと思っているが、議員の方からなかなか言い出せない。
○議案書を紙からタブレットに変更して良かった点、難点だという点を聞きたい。また、議場モニターを導入する話が出ているがどのように考えているのか。 →A. 良かった点は、紙の場合議案書の量が蓄積していくが、タブレットは1つ持ち歩くだけで良い。調べた資料も、住民に質問された時にすぐに活用することができる。難点は予算決算時に該当ページを探すのに時間が掛かり、慣れが必要。議場での大型モニター活用については、タブレットを有効活用する手段として考えている。モニター映像と議事録の整合性をどのように図っていくかが課題だ。映像を議事録で分かるように説明することを心がけることが大事だと思う。

②第1部（昼の部）

テーマ①地域商業活性化とにぎわい創出

質問・意見
○他市町と共に連携し、箱物、公共施設を造ってほしい。公共施設を設置する時は、隣に公園を造り、共有できる空間発想の転換を将来に繋げてほしい。
○長与町は住宅地で、時津町は、商業施設地帯。それで長与町からバスの経路が長崎市内に流れるようになっていく。まなび野経由、中尾城経由、長与に行きたいような公共交通の便を考えてほしい。
○町内に町民同士が、ゆっくりふれあい、休む場所がない。役場の中に休憩できる場所がほしい。ウォーターサーバーなど設置しゆったり立ち寄れるような場所にしてほしい。
○精神保健福祉手帳1級保持者のみ通院補助があり、その他2級保持者も通院対象にしてほしい。 →A. 現在1級保持者18人、2級145人、3級86人。国の制度であり、要望を行っていきたい。
○イオンタウンがフラットになっていると聞いていたが、道路から高さ8メートルで実際は勾配がついていた。団地造成の場合、電柱の地中化をして自然を守ってほしい。また、団地内を全てフラットにして幅も大型車両や消防自動車が通行できるようにしてほしい。100年後の長与町のことを考えてほしい。 →A. 都市計画マスタープランができていない。マスタープランの正常化をしていきたい。そうしないとしっかりとしたまちづくりができない。町内にコミュニティバス、循環バスを走らせれば商業の活性化となるのではないかと含め、総務厚生委員会で調査している。
○ビジネススタイルを育てるような職員の育成をしてほしい。駐車場がないので設置してほしい。
○長与町民の平均月収はどのくらいか。 →A. 長崎県平均年収は264万円。長与町が県内1位で329万円。長崎市が2位で297万円。

テーマ②人口減少対策と将来の暮らしを考える

質 問 ・ 意 見

- 不登校の問題で、親としては、どうしても学校に行かせたい。高齢者の方と子どもをサロンで一緒に遊ばせたいと思うが、意見を聴きたい。
→A. 貴重な意見としてお聞きします。不登校の問題について、テーマを決めて「住民懇談会」の申し入れを検討されるのも良いと思います。
- 福祉バス廃止で多くの住民が困っている。
→A. 役所にも伝えておきます。
- 土地利用を図るために、諫早市のように都市計画の線引きを廃止し、本町で新たな計画を考えるべきと思う。議会から働きかけてもらいたい。
→A. ぜひ、そういう声を上げてもらいたい。

③第2部（夜の部）

テーマ①地域商業活性化とにぎわい創出

テーマ②人口減少対策と将来の暮らしを考える

質 問 ・ 意 見

- 人が集まる宴会場や喫茶店がなくなった。本町で店を開くのは、難しい
→A. スーパーなど無くなってほしくない所は、できるだけ使用するようになっている。
- 長与駅と本川内駅の間に、三根駅があれば人の流れもできるのではないかな。
- 農業に従事しているが、農業の担い手（若手後継者・移住者）などを招いて話し合いする構想がある。農業に関わる人が増えてほしい。経験してもらうことが大切だ。
- 農産物の加工所があれば、雇用が生まれるのではないかな。障がい者の雇用の可能性もある。
- 産婦人科の病院があれば若い世代が本町を選ぶポイントになるかもしれないが、病院も店も成り立っていくかどうかは難しい問題だと思う。
- 昔は活気があった。観光スポットの創出を。簡単なことからでいい。花を植える等のアイデアを。
- 障害者雇用、女性雇用の場が長与には少ない。
- 後継者不足、高齢化による耕作放棄地の増加。
- 農福連携（農業・福祉）はどうか。障害者に直売所での作業ができないか。耕作放棄地に就労継続支援B型事業所と連携して、季節の花々を植えるのはどうか。
- 子育て中の女性の雇用の創出はどうか。産地直売所での雇用の考えはどうか。
- 人を呼び込むような仕組みを作り、SNSで町外の人を呼び込んではどうかな。
→A. 中尾城の桜もだが、SNSの活用は有効だと考える。
- イノシシの被害が大きくなっている。イノシシ被害の対策はどうか。
→A. イノシシ捕獲には箱罠を利用し、防御にはワイヤーメッシュと電気柵が基本。目撃情報が増えている。